

筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラムは博士課程教育リーディングプログラムとして2011年度より発足した5年一環の博士課程プログラムです。ヒトが人らしく生きる社会の創造を先導できる国際的トップリーダー養成を目的としこれまでの大学院教育のイメージを超えた革新的で新しい試みが多数行われています。本プログラムの今をお伝えする HBP ニュースター、プログラムのリアルな姿や履修生たちの様子をお伝えします。

## ～International Discussion on Human Biology～

今回は HBP で行われている授業の一つ、International Discussion on Human Biology を紹介します。この科目は国内外の他大学と筑波大学をテレビ会議システムでつないで行われます。講義は各大学の持ち回りで、教員のレクチャー、学生グループのジャーナルプレゼンテーション、ディスカッションで構成されています。当然ながら英語です。

今年度は、台湾の国立台湾大学と京都大学、そして筑波大学の3拠点を結び、Molecular Biology (1 学期)、Cancer Biology (2、3 学期) をトピックとして開講しています。



レクチャーも気合いが入ります。講師も学生も真剣です。



国立台湾大学から、エピジェネティクスに関するプレゼンを聞いています。プレゼンのあと、テレビ会議システムで国境を越えたディスカッションが行なわれます。



筑波大学から、「がん細胞におけるシグナル伝達」に関するプレゼンの様子。HBP の学生です。

プレゼンでは、他の拠点から参加している学生や教員の方にも分かりやすく伝えられるように、細心の準備を重ねます。緊張感がありますが、今後の学会発表のために貴重なトレーニングの機会です。他大学の学生のプレゼンや活発なディスカッションを聞いて刺激を受けることもしばしば。HBP の学習環境のグローバルさは、このような授業からも感じられるかと思います。

## ～Business Leaders' Seminar～

広く産官学に開かれたキャリアを目指すために、企業の経営者を招いて行う Business Leaders' Seminar。10月12日は MagArray Inc.※ CEO (最高経営責任者) の Luis Carbonell さんをお招きして、「How Internship influence Your Future Career (インターンシップがどう将来のキャリアに影響を与えるか?)」というタイトルで講演をして頂きました。



### 参加者の声

HBP 履修生 三浦 悠樹



講義の中ではご自身のインターンシップ経験やこれまでの会社での経験を元に、インターンシップで何をすべきかという話をして頂きました。就職する前に、インターンシップを通して本当に今やりたいと思っている仕事が自分にフィットするのか？本当にその仕事がしたいのか？自分がこの仕事はしたくないなと思うものは何なのか？を知っておくと良い、という話が参考になりました。日本ではまだ欧米型のインターンシップはそれほど浸透してないようですが、就職活動の際などは本当のインターンシップが出来る機会を求めて、自分の価値観をしっかりと把握したいと感じました。

### ※MagArray Inc. とは？

サンフランシスコに居を構え、革新的な磁性ナノ粒子技術を活用したタンパク質やバイオマーカーを検出する技術を有する医療機器メーカー。